



第117期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

レイズネクスト株式会社

証券コード：6379

幅広い事業領域のプラントに対応するメンテナンスとエンジニアリングで事業の発展に貢献します

企業理念

産業インフラを支える。豊かな未来を拓く。

- 安全で安定的なプラントの操業を支え、人、暮らし、環境の未来に貢献します。
- メンテナンスとエンジニアリングによって、プラントおよび設備の最適化を実現します。
- 多様性・自主性を尊重し、従業員・パートナー企業の幸せを追求します。

長期ビジョン RAIZNEXT Group V-2032

変革の時代に、進化したプラントサービスを

- エネルギーに携わる企業としての社会的責任を全うし、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。
- 常に最新の技術を導入・洗練し、メンテナンス・エンジニアリングの両輪でパートナー企業と共に最大限の顧客価値を提供し続けます。
- 人々の暮らしを支えるプラントの安定稼働を守る柱であるというプライドを持ち、従業員がやりがいをもって働くことのできる会社を目指します。

行動指針

進取果敢

既存の枠組みに捉われず
新しい発想で積極的に
挑戦します。

誠心誠意

お客様によりそい
一つひとつの仕事に
心を込めて取り組みます。

共存共栄

関係する全ての人を尊重し
ステークホルダーとともに
発展します。

日常保全工事

受注高／30,718百万円
完成工事高／30,091百万円

プラントの安定稼働には、日常の適切なメンテナンスが欠かせません。当社の技術スタッフがお客様のプラントに常駐して補修・点検などを行います。また、緊急工事の発生時にはすみやかに対応し、お客様の保全担当部門と一体となってプラントの安定稼働に貢献しています。当社の長年の経験と体系化された技術を提供することで、メンテナンスの効率化に大きく寄与しています。



定期修理工事

受注高／55,023百万円
完成工事高／57,613百万円

定期修理工事には、作業員をはじめ各種機械類の大量動員が必要であり、それらを効率よく稼働させるための高度なオペレーション機能が要求されます。実際の工事でもリソースの適正配分と安全性の確保を両立し、お客様の立場に立った定期修理工事を実施しています。



改造・改修工事

受注高／45,852百万円
完成工事高／40,425百万円

メンテナンスとエンジニアリングの技術を融合して、定期修理工事中におけるプラントの機能向上や省エネルギー化などを目的とした改造工事、長寿命化対策や信頼性向上のための改修工事を提供しています。



新規設備工事

受注高／11,502百万円
完成工事高／17,672百万円

中小規模のプラントを主体に、事業計画の支援から完成までのエンジニアリングサービスを一貫して提供し、お客様のニーズに合わせたプラントを実現します。



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第117期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

代表取締役社長
社長 執行役員

毛利 照彦
Teruhiko Mouri



■当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい状況で推移しました。経済活動は停滞し、個人消費が低迷するとともに、景況感や企業収益において業種間格差が広がるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社の主要顧客である、石油、石油化学や一般化学

業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、製品需要の低迷が続きました。

こうした状況下、受注高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う設備投資の中止や延期の影響を受けましたが、完成工事高につきましては、主要顧客である石油・石油化学業界において定期修理工事が多い年であったことから、堅調に推移しました。

また、収益面におきましては、人手不足により外注加工費が高水準で推移する中、直接工事費や経費の削減、稼働の効率化等により個々の工事における採算確保と収益性の向上に努めました。

当社グループの連結の業績としましては、受注高1,430億95百万円(前期比13.5%減)、完成工事高1,459億14百万円(前期比3.8%増)、営業利益103億86百万円(前期比3.4%増)、経常利益106億57百万円(前期比4.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益73億44百万円(前期比40.1%減)となりました。

当社単体の業績につきましては、受注高1,339億79百万円(前期比13.8%減)、完成工事高1,368億96百万円(前期比5.1%増)、営業利益94億15百万円(前期比12.1%増)、経常利益99億43百万円(前期比11.8%増)、当期純利益66億30百万円(前期比42.7%減)となりました。

なお、受注高は前期比減となっておりますが、前期の受注高は経営統合前の旧JXエンジニアリング株式会社の受注残高を統合時に当社の受注高として受け入れたものであり、当期はこの影響がなくなっております。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経営統合に伴う負ののれん発生益を計上しました前期と比較して大幅に減少しております。

■当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、971億21百万円で前連結会計年度末より、22億26百万円減少しました。これは、受取手形および完成工事未収入金が43億63百万円増加したものの、未成工事支出金が44億12百万円、繰延税金資産が24億43百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、232億31百万円で前連結会計年度末より、82億97百万円減少しました。これは、支払手形および工事未払金が13億57百万円、短期借入金が42億41百万円、未払法人税等が24億99百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、738億90百万円で前連結会計年度末より、60億70百万円増加しました。これは、利益剰余金が44億73百万円、その他有価証券評価差額金が9億29百万円、退職給付に係る調整累計額が6億19百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

受注高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

受注高		当連結会計年度 (2021年3月期)	前連結会計年度 (2020年3月期)	前期比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	30,718	31,281	△563	△1.8%
	定期修理工事	55,023	48,840	6,182	12.7%
	改造・改修工事	45,852	50,747	△4,895	△9.6%
	新規設備工事	11,502	34,533	△23,031	△66.7%
合計		143,095	165,404	△22,308	△13.5%

完成工事高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

完成工事高		当連結会計年度 (2021年3月期)	前連結会計年度 (2020年3月期)	前期比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	30,091	31,228	△1,137	△3.6%
	定期修理工事	57,613	44,684	12,928	28.9%
	改造・改修工事	40,425	41,947	△1,521	△3.6%
	新規設備工事	17,672	22,598	△4,925	△21.8%
その他		111	120	△8	△7.1%
合計		145,914	140,578	5,335	3.8%

(注) その他は、不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

株主還元

継続性および安定性を充分留意した配当を実施しております。

	1株当たり配当金	連結配当性向
第117期(2021年3月期)	55.00円	40.6%

■当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億17百万円(前期比5.0%)増加し、66億86百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、85億91百万円の増加、前連結会計年度に比べ149億75百万円の増加になりました。主な支出は、売上債権の増加額73億44百万円、主な収入は、未成工事支出金の減少額52億7百万円、仕入債務の増加額139億28百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億1百万円の減少となり前連結会計年度に比べ7億41百万円の減少となりました。これは主に、有形および無形固定資産の取得による支出10億70百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、71億70百万円の減少となり、前連結会計年度に比べ20億27百万円の減少となりました。主な支出は、短期借入金の純減少額42億31百万円、配当金の支払額28億71百万円によるものであります。

■今後の見通し

次期(2022年3月期)につきましては、引き続き新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の

停滞や減速が懸念される状況にあります。感染症の収束に見通しが立たない中、コロナ禍以前の経済・社会活動に戻ることは難しいものと考えております。

当期は当社が受注する定期修理工事が多い年にあたりました

が、次期は定期修理工事が少なくなると予想されます。このため、受注高・完成工事高の減少が予想されますが、日常保全工事・改造改修工事をはじめとするメンテナンス関連工事の受注拡大を目指すとともに、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラント、再生可能エネルギー関連の受注確保にも努めてまいり所存です。

なお、当社グループは、このほど「第2次中期経営計画－RAIZNEXT SYNERGY POWER」(2021年度から2024年度まで)を策定いたしました。詳細につきましては、本冊子8～10頁の「第2次中期経営計画」をご参照くださいますようお願いいたします。



■利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社グループの事業は、石油、石油化学、一般化学等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。

事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図るとともに、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主の皆様、顧客、取引先、社員等の各関係者の

将来的な利益を確保することに繋がるものであると認識しております。

この認識のもと、株主の皆様への利益配当を経営の最重要課題と位置付けております。収益に即した、継続的かつ安定的な配当を実施することに留意し、40%以上の連結配当性向を目標としております。

当期につきましては、上記に基づき、通期の連結業績を総合的に勘案したうえで、1株につき55円といたしました。次期につきましては、1株につき47円を予定しております。

本店移転のお知らせ

当社は、2019年7月の経営統合以後、「磯子本社」(横浜市磯子区新磯子町27番地5)および「みなとみらい本社」(横浜市中区桜木町一丁目1番地8)の両本社を置き、磯子本社を会社登記上の本店としておりました。

みなとみらい本社の機能拡充に伴い、2021年2月、みなとみらい本社を会社登記上の本店といたしました。

なお、当社は、今後も両本社体制を維持し、これらに本社機能を分担させることといたします。



第2次中期経営計画を策定しました

当社グループは本年3月に、「2032年度までに当社グループがやりたい姿」を描いた長期ビジョンとして「RAIZNEXT Group V-2032」を策定いたしました。

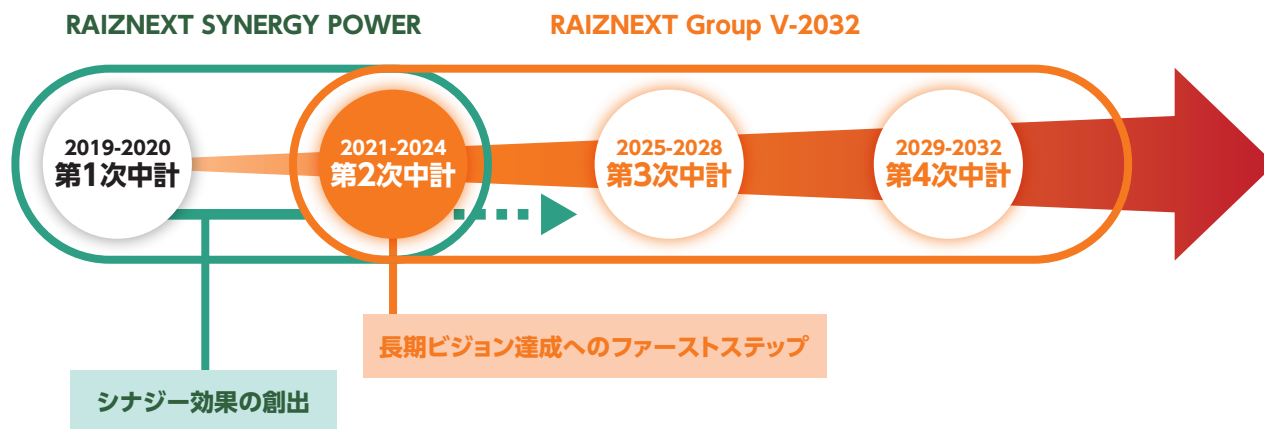
また、合わせて、2021～2024年度を対象とする「第2次中期経営計画－RAIZNEXT SYNERGY POWER」を策定いたしました。

長期ビジョンは、政府が2050年までに実現を目指しておりますカーボンニュートラル社会の到来や、デジタル革命の進展等を見据え、変革する新時代に備えた準備

を早急に進めていく必要があるとの認識のもと、12年先である2032年度までの「やりたい姿」および基本方針を示したものです。

第2次中期経営計画は、第1次中期経営計画に続き、2019年に実施しました会社統合による本格的な「シナジー効果の創出」を行うための計画であるとともに長期ビジョンの実現に向けたファーストステップと位置付けております。

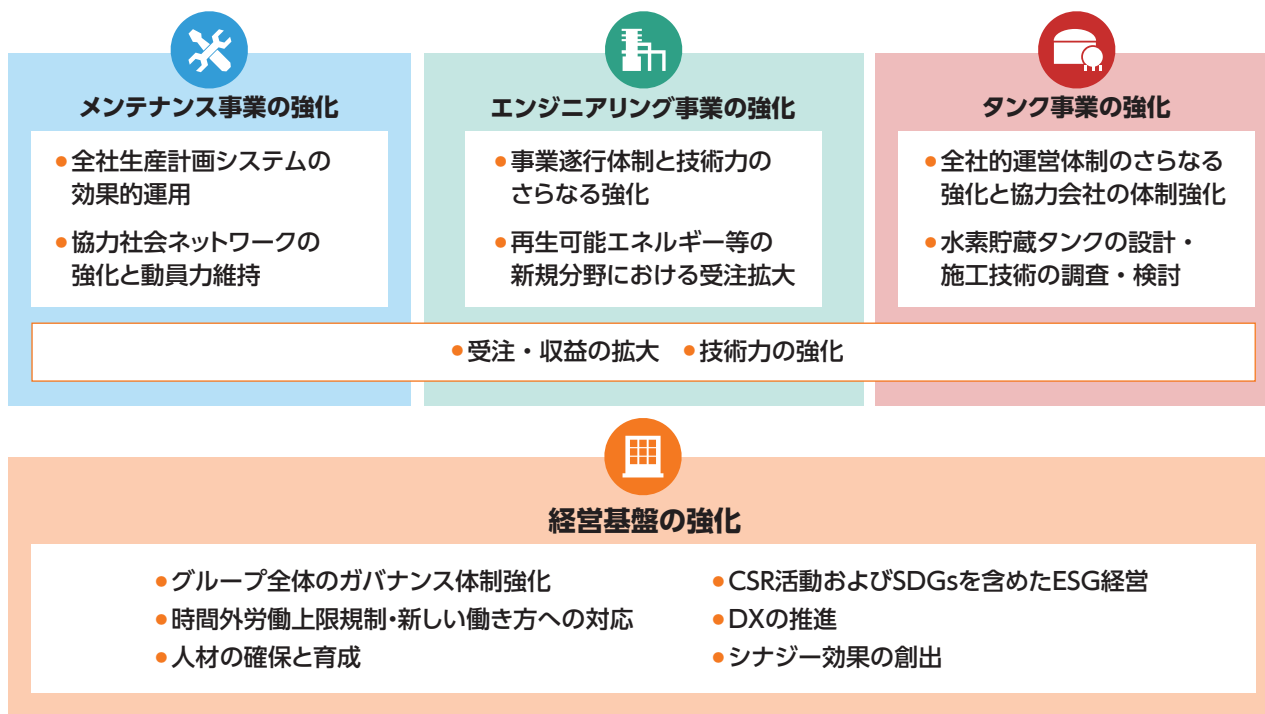
第2次中期経営計画の位置付け



基本方針

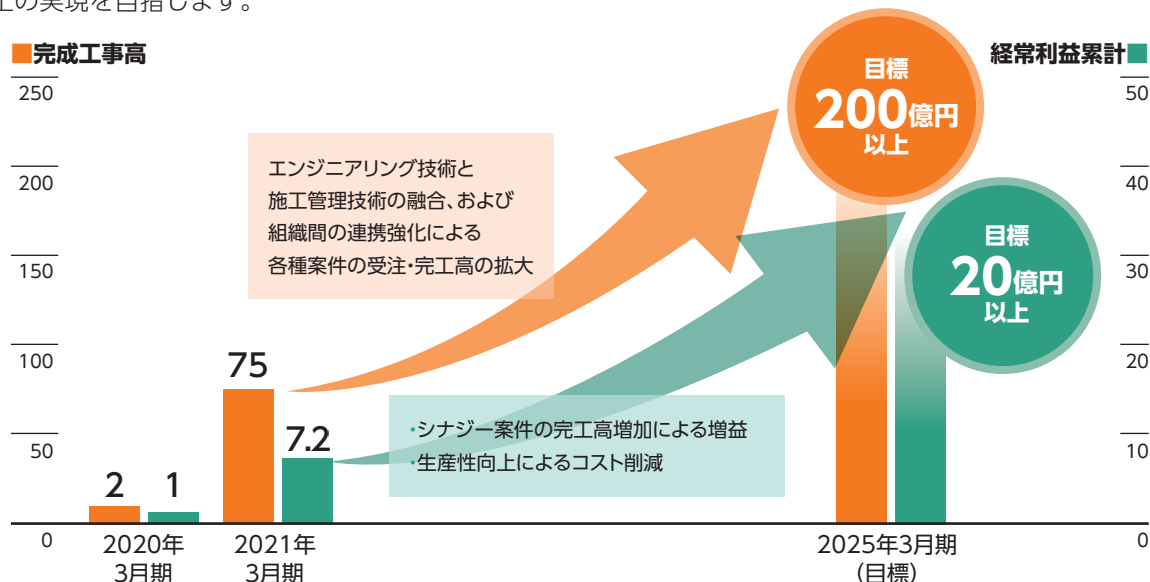


経営基盤の強化と各事業戦略



シナジー効果

統合によるシナジー効果として次の事項を目標とし、2025年3月期までの累計で、売上高200億円以上、経常利益20億円以上の実現を目指します。



経営数値目標

第2次中期経営計画最終年度について下記数値の達成を目指します。

(連結)	項目	2024年度 (2025年3月期)
業績目標	完成工事高	1,450億円
	営業利益 (利益率)	105億円 (7.2%)
	親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率)	70億円 (4.8%)
経営指標の目標値	自己資本当期純利益率 (ROE)	8%以上
	連結配当性向	40%以上

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2021年3月31日現在	前連結会計年度 2020年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	75,481	76,951
固 定 資 産	21,640	22,397
有 形 固 定 資 産	13,264	12,888
無 形 固 定 資 産	1,078	1,186
投資その他の資産	7,297	8,322
資 産 合 計	97,121	99,348
負 債 の 部		
流 動 負 債	19,225	26,661
固 定 負 債	4,006	4,867
負 債 合 計	23,231	31,529
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	70,890	66,417
資 本 金	2,754	2,754
資 本 剰 余 金	11,845	11,845
利 益 剰 余 金	56,291	51,818
自 己 株 式	△0	△0
その他の包括利益累計額	1,962	397
その他有価証券評価差額金	1,483	553
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	5	△7
退職給付に係る調整累計額	473	△146
非支配株主持分	1,036	1,004
純 資 産 合 計	73,890	67,819
負 債 ・ 純 資 産 合 計	97,121	99,348

連結損益計算書

(単位：百万円)

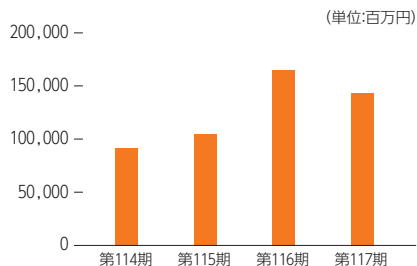
科 目	当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	前連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
完 成 工 事 高	145,914	140,578
完 成 工 事 原 価	129,499	123,738
完 成 工 事 総 利 益	16,415	16,840
販売費及び一般管理費	6,029	6,800
営 業 利 益	10,386	10,040
営 業 外 収 益	389	401
営 業 外 費 用	118	202
経 常 利 益	10,657	10,239
特 別 利 益	11	5,663
特 別 損 失	18	33
税金等調整前当期純利益	10,649	15,869
法人税、住民税及び事業税	1,474	3,775
法 人 税 等 調 整 額	1,759	△311
非支配株主に帰属する当期純利益	71	147
親会社株主に帰属する当期純利益	7,344	12,258

連結キャッシュ・フロー計算書

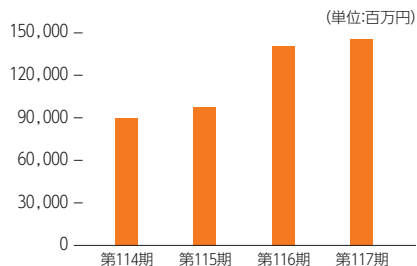
(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	前連結会計年度 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,591	△6,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,101	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,170	△5,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△6
現金及び現金同等物の増減額	317	△11,893
現金及び現金同等物期首首高	6,368	16,821
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	—	622
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	818
現金及び現金同等物期末残高	6,686	6,368

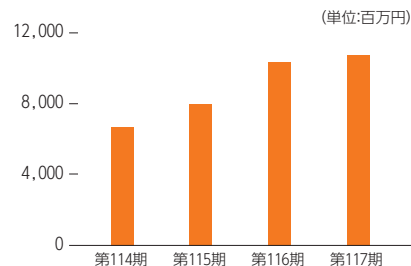
受注高



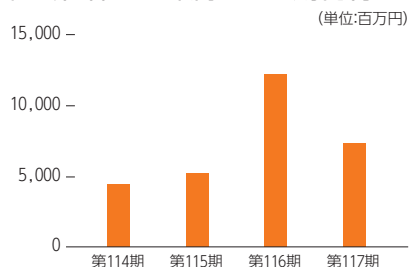
完成工事高



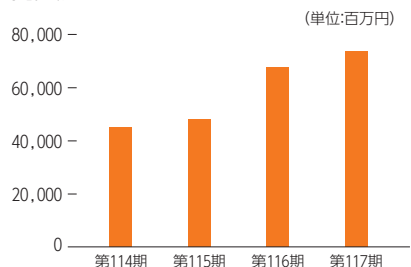
経常利益



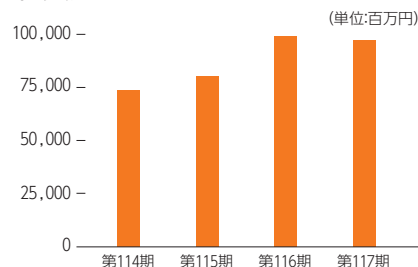
親会社株主に帰属する当期純利益



純資産



総資産



(単位：百万円)

	第114期 2018年3月期	第115期 2019年3月期	第116期 2020年3月期	第117期 2021年3月期
受注高	91,601	104,588	165,404	143,095
完成工事高	89,611	97,331	140,578	145,914
経常利益	6,634	7,939	10,239	10,657
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,452	5,225	12,258	7,344
純資産	45,011	47,988	67,819	73,890
総資産	73,477	80,155	99,348	97,121

※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を第115期(2019年3月期)の期首から適用したため、2018年3月期においては遡及適用後の数値を記載しております。

概 要

- 商 号 レイズネクスト株式会社
RAIZNEXT Corporation
- 本社所在地 〒231-0062 横浜市中区桜木町一丁目1番地8
- お問合せ先 045-415-1111 (代表)
- 設 立 1938年(昭和13年)7月20日
- 資 本 金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従 業 員 数 連結 2,122名 単体 1,656名

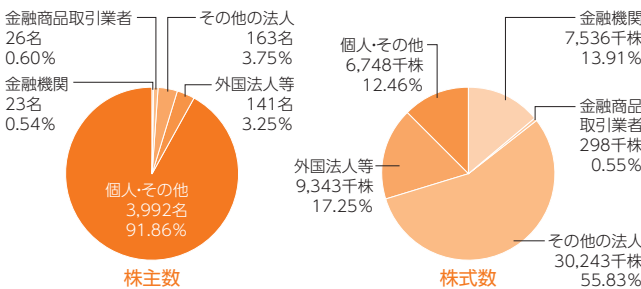
役 員 (2021年6月24日現在)

代表取締役会長	野 呂 隆
取締役副会長	大 友 喜 治
代表取締役社長 社長執行役員	毛 利 照 彦
取締役副社長 副社長執行役員	福 久 正 毅
取締役 常務執行役員	山 内 弘 人
取締役 常務執行役員	三ツ井 克 則
取締役 常務執行役員	上 田 秀 樹
取締役 (監査等委員)	黒 澤 健 治
社外取締役 (監査等委員)	佐 分 紀 夫
社外取締役 (監査等委員)	水 地 啓 子
社外取締役 (監査等委員)	大 西 裕
社外取締役 (監査等委員)	西 田 まゆみ

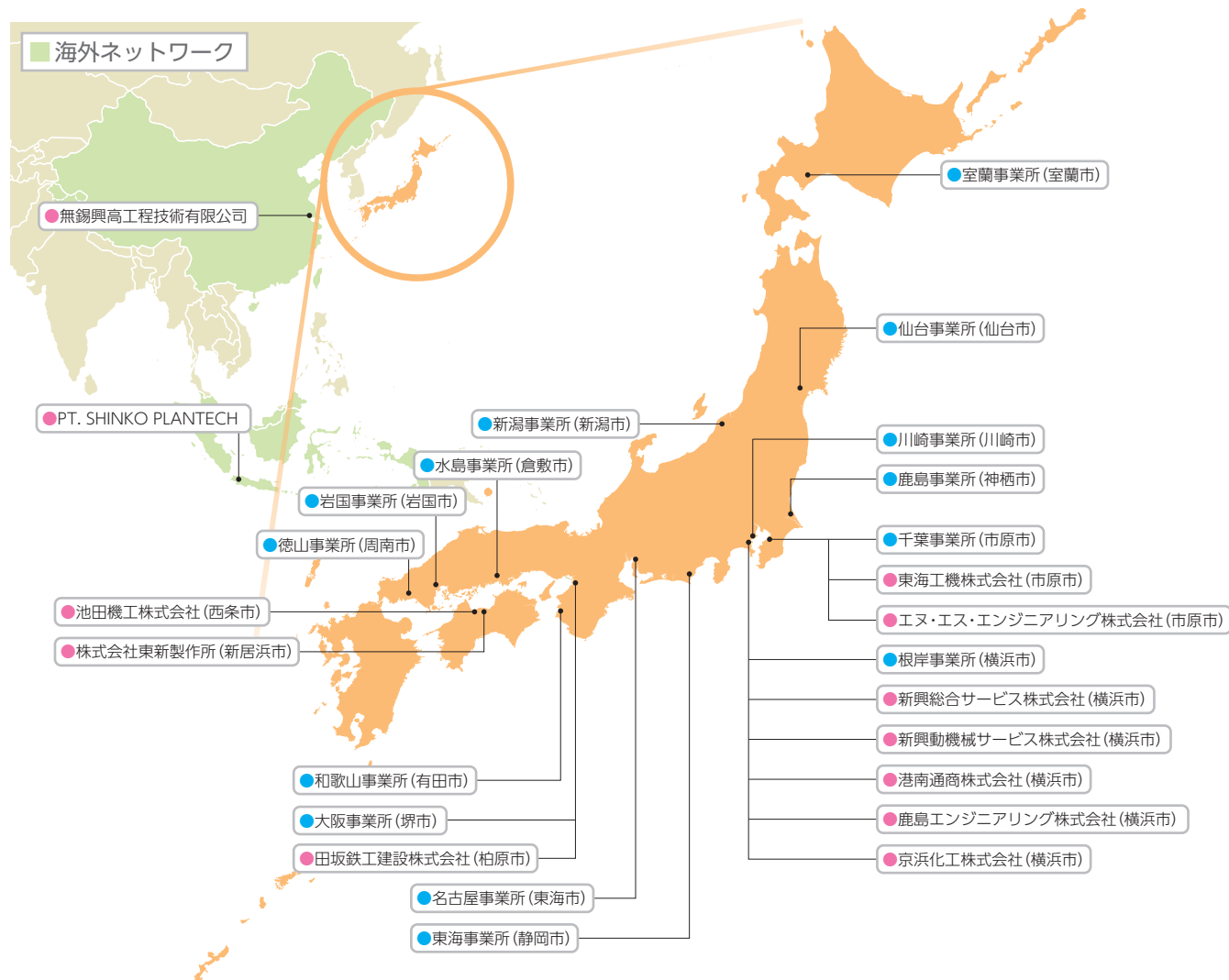
- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 54,168,053株 (自己株式425株含む)
- 株 主 数 4,345名 (前期末比753名増)
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ENEOSホールディングス株式会社	11,658	21.52
光 通 信 株 式 会 社	5,397	9.96
株式会社UHP Partners 2	4,904	9.05
株 式 会 社 N I P P O	3,882	7.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,734	5.05
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,925	3.55
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,600	2.96
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,326	2.45
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,250	2.31
レイズネクスト取引先持株会	1,060	1.96

● 所有株数別株式分布状況



●事業所 14カ所
●子会社 12カ所



株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月中
基 準 日	定時株主総会については 3月31日といたします。 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日および中間配当を 実施するときは9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話問い合わせ および郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告といたします。 但し、電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
単 元 株 式 数	100株

Webサイトのご紹介

当社ウェブサイトでは、会社案内、事業紹介、株主・投資家情報など、各ページにおいて、当社に関する情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

レイズネクスト

検索

<https://www.raiznext.co.jp>

● トップページ



● 株主・投資家情報



最新のIR資料や、決算短信・
決算説明資料・有価証券報告
書等のより詳細な財務情報を
掲載しております。

